

ココラボ西新 広報誌 11月号



大相撲十一月場所（福岡）

相撲の起源

相撲は人間の闘争本能の発露であるカくらべや取っ組み合いから発生した伝統あるスポーツです。

日本の相撲の起源としては、古事記や日本書紀の中にあるカくらべの神話から始まり、平安時代にはその年の農作物の収穫を占う祭りの儀式として毎年の恒例行事になっていました。

その後、武士の戦闘の訓練として盛んに相撲が行われ、かの有名な織田信長も深く相撲を愛好し、各地から力士を集めて相撲を催して勝ち抜いた者を家臣として召し抱えたそうです。

江戸時代に入ると浪人や力自慢の者の中から相撲を職業とする人たちが現れ、全国で相撲が行われるようになり、江戸時代中期には定期的に相撲が興行されるようになりました。やがて、各地の3大強豪力士が出現し、将軍も観戦する上覧相撲も行われたことで相撲の人気は急速に高まり、相撲は歌舞伎と並んで一般庶民の娯楽として大きな要素をなすようになりました。

日本の文化に深く根ざし、いつも人々の生活とともにあった相撲。相撲には歴史・文化・神事・競技など様々な側面があり、それぞれ奥深い要素を持っています。

テレビでは味わえない、戦国時代より登場した行司、江戸時代より続いている土俵入り・化粧廻しなど、長年続いてきた文化を十一月場所では是非ご体感ください！



スポーツの秋

スポーツの秋ということで体育の日（10月9日）にココラボ西新では、ボーリング大会を開催しました。



普段の仕事の疲れも忘れて、職員利用者関係なく励まし合って、大会は大盛り上がり。

いい運動にもなり、久しぶりにリフレッシュできた一日でした\(^o^)/



勤労感謝の日の由来

勤労感謝の日は戦後に制定された祝日で、元は「新嘗祭（にいなめさい）」という祭日でした。新嘗祭の「新」は新穀を、「嘗」はご馳走のことを意味します。新稲の収穫を祝い、翌年の豊穡を祈願する行事であり、皇室にも伝わる非常に重要な神道の儀式の一つだそうです。



勤労感謝の日の意味とは

勤労感謝の日は、国民の祝日に関する法律によると、「勤労をたつとび、生産を祝い、国民たがいに感謝しあう」ことを趣旨としていて簡単に言うと、働くことを大事にし、作ったものをみんなで感謝して喜び合う日なんです。毎日何気なく食べているご飯だって、農家さんが汗水流して働いた結果できたもの。



そして、食卓に上がるまでには検査をする人・販売地まで運ぶ人など様々な人が関わっています。お米一つとっても、様々な人のおかげで食べることができるんですね。11月23日の勤労感謝の日には、そんなことも考えながらぜひ感謝して食事もしっかり味わいたいですね。



利用者の声

私は職場見学から仕事の体験を通し、ココラボ西新で働かせて頂くことになりました。ココラボ西新で働き始めて5ヶ月になり、いろいろな仕事を教えて頂きました。右半身麻痺の為、皆さんにご迷惑をお掛けしていますが、職員の方や一緒に働いている方々も親切で、不自由さをあまり感じていません。最初に教わった仕事はチラシの折込みとデータ入力操作でした。

最近では不動産登録の仕事をしています。最初は何の事か全く意味が分からなかった事でも、徐々に言葉の意味や不動産との関連性が理解できて、仕事をする喜びが増して来ました。

私の出来る事はまだ少ないですが、これからも皆さんともっとコミュニケーションを取り仲良くして行きたいと思います。これからも宜しくお願い致します。



今月のお休み

- 11月 4日(土) 11月 5日(日)
- 11月 11日(土) 11月 12日(日)
- 11月 18日(土) 11月 19日(日)
- 11月 21日(火) 11月 26日(日)



ココラボ西新
〒814-0002
福岡市早良区西新 4-9-6
ふくかねビル 3F

TEL:092-407-3809
FAX:092-407-3869



coccolab



facebook